

体育大会を終えた先生方の週案簿には、たくさんの思いが書かれていました。そのほんの一部を紹介します。

★東中の体育大会はまさしくお祭りでした。東中生の情熱と情熱とが融合し、新しい東中文化の創造を加速させました。コロナ禍の中、私たちは仲間を精一杯応援することを控えていました。団体での応援では3年生が1・2年生のところへ歩み寄って、共に声援を送る姿は全体に躍動感を生み、見ているものに勇気を与えました。(中略) 体育大会当日の朝の黒板は担任らしく魂のこもったメッセージが書いてありました。



★1年生の担任は感謝状を準備し、体育大会が終わった学活で頑張った子をみんなでねぎらっていました。生徒たちにも「ありがとうの気持ち」を形にして行動することの価値に気付いてくれたと思います。共に頑張った仲間にねぎらうことができる東中生を誇りに思います。

★〇〇君が誰よりも声をかけていた。自席にいるときは毎回、全身を使って、1・2年生に対して音頭を取っていた。「毎回」「全力」で行っていたことに感嘆。

★〇〇さんは常に1・2学年を巡回し、「水分補給してね」と健康面での配慮を行っていた。〇〇が体調不良で救護室に行く時も、「先生、私付き添います」と率先して動いていた。

★〇〇は「自分の成長をこんなに感じられたのは初めてです」と振り返りで書いており、練習を通して自分の成長を感じていた。〇〇は人一倍力を入れて取り組んできた分、学級で一番悔しがらる姿を見せ、「合唱コンクールは今度こそ優勝させます」と振り返っていた。

